

精神科研修カリキュラム【北アルプス医療センターあづみ病院

研修責任者 村田 志保】

大町病院より車で約10分少々のある北アルプス医療センターあづみ病院の精神科で1か月の研修を行う。この病院には認知症専用病棟もあるため、認知症の実態を学ぶことから、大きな研修意義がある。

I 研修目標

精神科の診断、治療、予防に必要な知識と技術を習得する。特に精神疾患の初期対応の実際を学ぶとともに精神医療の全体像の把握に努める。

経験すべき症状・病態・疾患

- 1) 頻度の高い症状
 - ・不眠
 - ・けいれん発作
 - ・不安
 - ・抑うつ
- 2) 緊急を要する症状・病態
 - ・意識障害
 - ・精神科領域の救急
- 3) 経験が求められる疾患・病態

必須項目

- A: 疾患については入院患者を受け待ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること。
- B: 疾患については、外来診療または受け待ち入院患者（合併症含む）で自ら経験すること。

精神・神経系疾患

- (1) 症状精神病（せん妄）
- (2) 認知症（脳血管疾患性認知症を含む）：A
- (3) アルコール依存症
- (4) 気分障害（うつ病、躁うつ病）：A
- (5) 統合失調症（精神分裂症）：A
- (6) 不安障害（パニック症候群）
- (7) 身体表現性障害、ストレス関連障害：B

II 研修方法

病棟勤務：入院患者の副主治医となり主治医より基本的な医学業務の指導を受ける。
外来勤務：指導医に陪席し、予診を担当するとともに、入院担当患者が退院した後は、外来主治医を指導医のもとで担当する。

III 指導医

氏名	卒業年	専門領域	認定医・指導医等
村田 志保	昭和 60 年	摂食障害 思春期精神疾患	精神科指定医
中村 伸治	平成 12 年		